

果樹生育情報 5月号

令和6年5月27日

栗原農業改良普及センター

〈りんごの生育状況等〉

管内のりんご(ふじ)の生育状況は、下表1、2のとおりです。

表1 令和6年産生育状況 (調査地点:栗原市金成小堤)

	発芽期	展葉期	開花始	満開期	落花期
本年	4/1	4/6	4/20	4/26	4/28
平年比(日)	-2	-5	-10	-8	-10
前年比(日)	+9	+6	+2	+2	+1

(注)平年比、前年比の+は、平年・前年より遅いことを、-は、平年・前年より早いことを表す。

表2 令和6年産 結実状況

	金成小堤	金成末野	高清水福塚
中心果結実率(%)	91.0	99.0	96.0
側果結実率(%) (*)	99.0	99.0	99.0
側果平均結実数(個)	3.3	3.5	2.9

(*)1果そうに側果が、1果以上結実している割合

〈適正着果基準について〉

今年は、霜害もなく開花期間も天候に恵まれ、結実状況は良好ですので、摘果作業を遅れないように実施しましょう。

果実の生産には葉の同化能力とその葉面積が大きく関わっており、一般的に「葉面積(葉数)」を目安にして表3の基準が設けられていますが、台木の種類、樹勢、樹齢、整枝法、肥培管理法、また、日当たりの良し悪しでも葉の同化能力にも差がありますので、樹の状況に応じて適正な着果に努めましょう。

表3 品種別適正着果基準

品種	1果あたりの 必要葉数	着果の目安
つがる, 紅玉 ジョナゴールド	45枚~60枚	3~4頂芽に1果
ふじ, 秋映, さんさ 王林, 陽光 シナノスイート シナノゴールド	60枚~75枚	4~5頂芽に1果

〈病害虫発生状況〉

表4 宮城県病害虫防除所発生予報第2号(令和6年5月27日発表)

病害虫名	発生量	予報の根拠
斑点落葉病	多	(1)前年の発生量は平年よりやや多かったことから、伝染源量もやや多いと推測される。(/+) (2)巡回調査の結果、新梢葉における発病葉率及び発生地点率は平年より多かった。(/+) (3)高温多湿が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は平年並か高く(/±~+)、降水量は平年並か多いと予報されている。(/±~+)
ハダニ類	やや少	(1)巡回調査の結果、新梢における寄生は確認されなかった。(/-) (2)高温乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の平均気温は平年並か高く(/±~+)、降水量は平年並か多いと予報されている。(/-~±)
アブラムシ類	少	(1)巡回調査の結果、新梢における寄生は確認されなかった。(/-) (2)乾燥が発生に好適であり、向こう1か月の降水量は平年並か多いと予報されている。(/-~±)

- ・本年は、りんごの生育が平年より早く推移しているため、生育ステージに注意して防除を行いましょう。
- ・スピードスプレーヤの防除では低速による全列走行とし、薬液のかかりにくい部分は病害虫の発生源になりやすいことから補完散布を行いましょう。
- ・ハダニ類の越冬卵量が多い園地では、早期から寄生密度が高くなる傾向にあるので、樹冠内部をよく観察し、適期防除を行いましょう。
- ・果樹カメムシ類に関して防除情報第2号が発表されました。ほ場内を注意深く観察し、発生状況の把握に努め、適切に防除を行いましょう。

〈今後の気象情報〉

仙台管区气象台による向こう 1 か月(5月25日から6月24日)の天候予報によると、『暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は平年並か高いでしょう。また、期間のはじめは低気圧や前線の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多いでしょう。』との予報が出ています。

3か月(6~8月)予報では、全体的に『暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。』とのことです。昨年と同じように暑い夏になる予報となっています。

天気予報を確認し、散布予定日に降雨が予想される場合は、散布を前倒して降雨前に防除しましょう。